

COMMUNITY SOLUTION

BeGood Cafe

オレンジプロジェクトと、耕作放棄地支援等に於ける企業とのコラボレーション

NPO法人ビーグッドカフェ

代表理事 シキタ純

BeGood Cafeは、1999年1月から活動を始めた「持続可能な社会の実現」を目的とするNPOです。



STATEMENT

いま世界中で新しいライフスタイルが始まっています。
いまの経済システムでは「持続可能ではない」ことが分かったからです。
気候温暖化と環境破壊の解決、そして貧困のない世界に向かって、
私達から生き方を変えていく時期の到来です。
大量消費社会から、持続可能な社会へ。

しかし、危機的問題を引き起こしている現在の仕組みに対して、
NOを唱えて反対運動をするのではなく、
BeGood Cafeは、環境負荷が低く、
らくちんな生活術を始めてしまおうと思います。
私達自身がYESの生活を始めるのです。
NOより、YES

この考え方に基づいて、BeGood Cafe はチャレンジを続けます。
キーワードは、サステナビリティ、コミュニティ、
自然食、パーマカルチャー、エコビレッジ。
新しいライフスタイルの知恵を共有します。

笑顔でYES
いつもスマイル！

BeGood Cafe TOKYO

もっと素敵な社会、もっと素敵な生き方について一緒に考える「コミュニティカフェ」イベント
1999年～2007年まで毎月開催。



団体概要

設立 : 1999年1月 (法人登記 2003年3月)
住所 : 東京都世田谷区太子堂1-15-10
R三軒茶屋2F Smile Studio
代表者 : 代表理事 シキタ純
スタッフ : 6名

活動テーマ : 持続可能な社会と平和

BeGood Cafeとは?

BeGood Cafeは、もっと素敵な社会、もっと素敵な生き方について一緒に考える「コミュニティカフェ」イベントとして、1999年1月に原宿で誕生しました。

食・農・環境・貧困・平和など様々なテーマで毎月トークイベントを開催し、約100回の開催を通して多くの方々とながりました。現在は、企業や行政とのコラボレーションや国際会議の開催など、より多岐にわたる「つながり作り」の中で、地球や社会、そして自分にとっての「素敵ないいこと」を始めています。



BeGood Cafeの理念

いま時代が大きく変化を遂げています。この社会に新しい秩序や価値観が求められているのです。そういった時代の中で、BeGood Cafeは古い秩序や価値観にNOと言って反対するのではなく、より素敵な新しい考えを指し示し、持続可能で平和な社会への変化を促します。NOより、YESなのです。 ※最終ページのOUR STATEMENTを参照

BeGood Cafeの活動テーマ

「持続可能な社会と平和」がBeGood Cafeの活動テーマです。地域の方達とのイベントやワークショップを通じて、また企業とのコラボレーションプロジェクトを通じて、持続可能な社会と平和に関する関心を高め、実践に結びつく仕組みを作ります。

持続可能な社会に向けて

イベントでの知恵の共有

「知恵の共有とつながり作り」イベントの開催
■愛知万博 ■アースデイ東京 ■エコビレッジ国際会議

企業との環境活動

CSR活動のサポート、制作・運営、コンサルティング
■クボタ ■東芝 ■三井不動産 ■イオン

コミュニティ・ソリューション

地域の活性化
■山中湖の開発 ■小田原での活性化計画

愛知万博

食育の発信をミッションとして

2005年3～9月

愛地球博・地球市民村で

自然食レストランと有機菜園の運営を行ないました。

愛知万博の展開

期間：2005年3月25日～9月25日 場所：万博長久手会場、地球市民村

ナチュラルフード・カフェ
NaturalFoodCafe

オーガニック・ガーデン
OrganicGarden

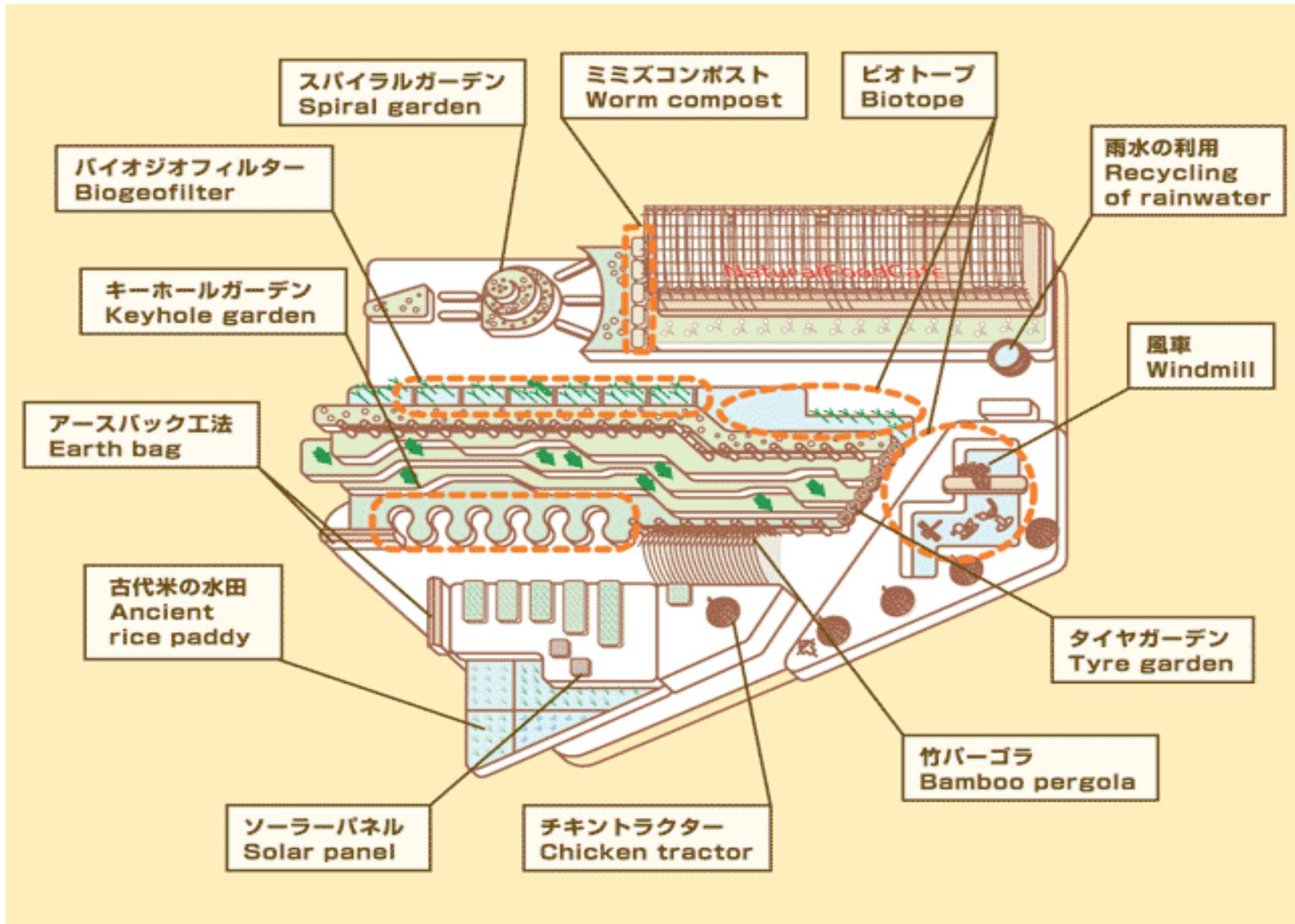


100席の自然食レストランで、有機野菜のみを使ったマクロビオティック料理を提供。徐々に人気が出て、初夏以降は朝から行列の出来るほどの人気でした。

同時に、1,000平米(約1反)のパーマカルチャー農園を運営。前年秋から急遽土壌改良をして、作物が育つ環境を作りました。数々のエコ技術を駆使し、生物多様性が大きく広がるほどの発展を見せました。



サステナブルな展開ポイント



会場の様子



アースデイ東京

4月22日は"地球の日"

アースデイの誕生...1970年アメリカ

1970年、ウィスコンシン州選出のG・ネルソン上院議員が、4月22日を"地球の日"であると宣言、アースデイが誕生しました。

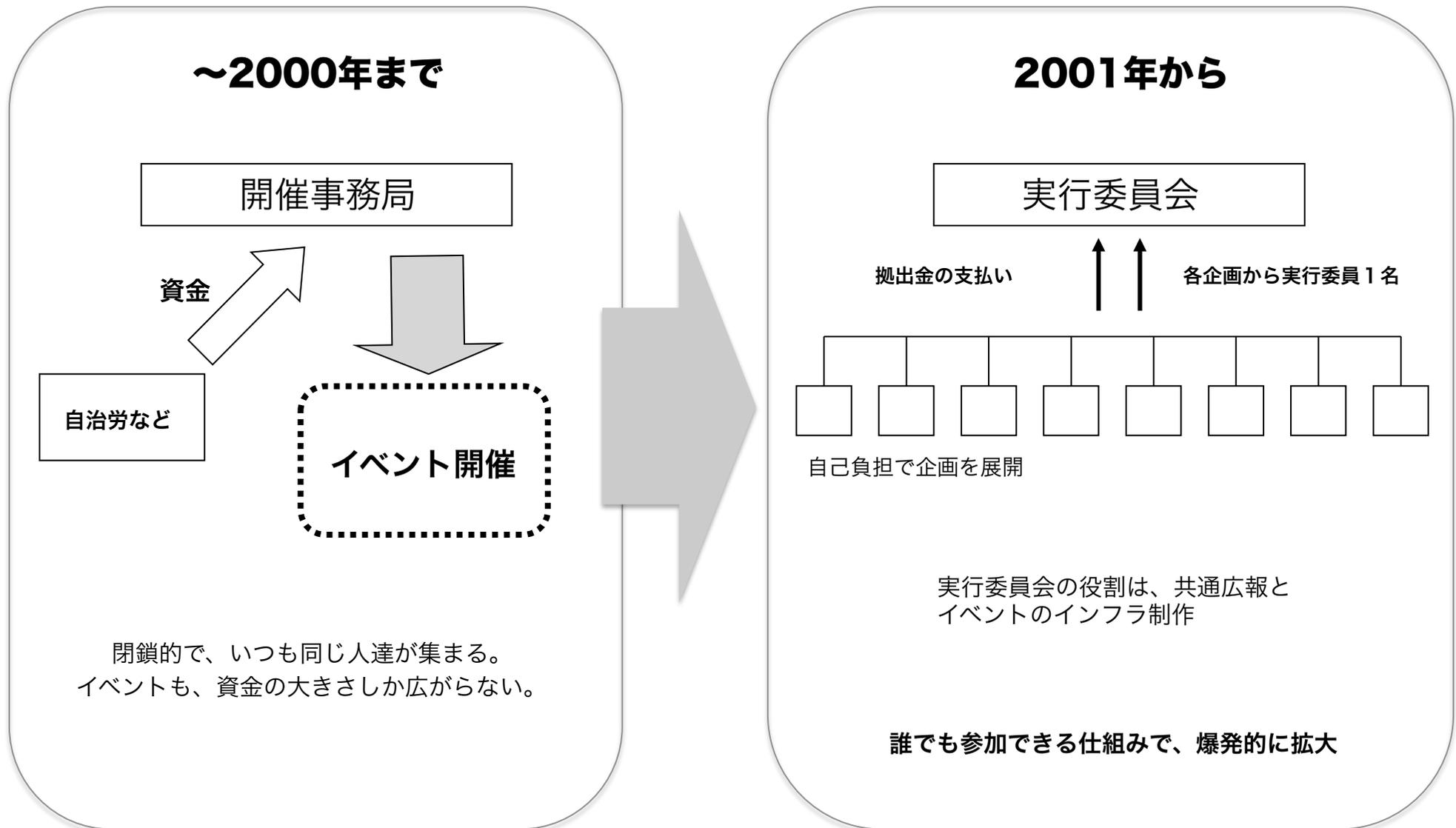
ネルソン氏は、学生運動・市民運動がさかんなこの時代に、アースデイを通して、環境のかかえる問題に対して人びとに関心をもってもらおうと考え、それは当時全米学生自治会長をしていたデニス・ヘイズ氏による、全米への呼びかけへとつながりました。

そうして、1970年の最初のアースデイは、延べ2000万人以上の人びとが何らかの形で、地球への関心を表現するアメリカ史上最大のユニークで多彩なイベントとなりました。

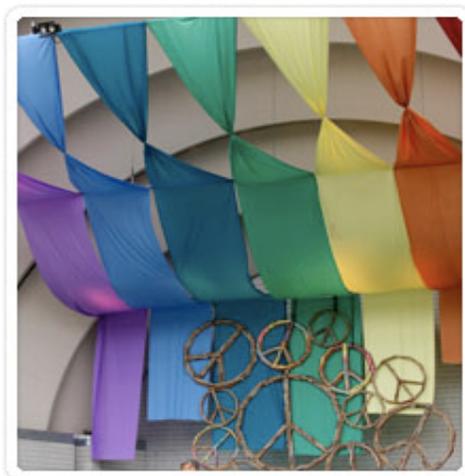


組織の改革

2001年より、C.W.ニコル氏が実行委員長、シキタが議長として改革を行いました。



4月21日を中心とした週末2日間で15万人が集う世界最大級のアースデイになりました。



EC●VILLAGE
CONFERENCE
T O K Y O

2010

笑顔がつながる暮らし方

持続可能なライフスタイルを実践している
エココミュニティが世界に15,000ヶ所あると言われています。

まず、知って

日本で何が出来るかを考えます。

<エコビレッジの特徴>

- 地産地消的な暮らし
- 環境に優しい建築
- 自然エネルギーの利用
- 雨水や排水の循環再生利用
- コーポラティブ組合組織などで、支え合う地域経済を実践

<主なエコビレッジ>

クリスタルウォータース(豪州)、ダマヌール(伊)、フィンドホーン(英国)、オーロビル(インド)、イサカ(米国)等の新しいエコビレッジづくりや、その他、スリランカ等での伝統的な集落での持続性を目指す集落生活運動などが有名です。



エコビレッジ国際会議TOKYOの開催

- 2006年よりスタートした、「エコビレッジ」をテーマにした国内唯一・市民発の国際会議
- 海外の先駆者をお招きしての海外事例の紹介や、国内の様々な取り組みを紹介。
情報を発信するだけでなく、参加者間で交流し、議論を重ねる場としても定着しつつあります。

レクチャー



パネルディスカッション



ワークショップ



音楽ライブ



情報コーナー



交流カフェ



クボタEプロジェクト

地球

TERRA - KOYA

小屋

Powered by **BeGood Cafe**

大自然を学ぶ小学生サマーキャンプ

クボタ地球小屋 小学生サマーキャンプの開催

会場：長野県安曇野 期間：3泊4日 対象：小学生4～6年生



東芝地球未来会議

世界各国の高校生達が持続可能な未来について考えるキャンプ

TOSHIBA YOUTH CONFERENCE
for a Sustainable Future

東芝様との高校生国際交流キャンプ

1週間滞在の中で、高校生が取材し、16ページの新聞を作ります。



企画名称： 東芝 地球未来会議 2009
 英語名称： TOSHIBA YOUTH CONFERENCE FOR A SUSTAINABLE FUTURE 2009

事業期間： 2008年から毎年開催
 開催期間： 8月上旬の1週間

場所： 城西国際大学 安房ラーニングセンター
 東芝研修センター（神奈川県横浜市）

主催： 財団法人 東芝国際交流財団
 共催： 東芝アメリカ財団、東芝タイ財団
 企画制作： NPO法人ビーグッドカフェ
 協力： 株式会社東芝、城西国際大学、日本航空財団法人日本国際交流センター



小学生向け環境プログラム
&EARTH教室「すまいのECOチャレンジ」



&EARTH教室 「すまいのECOチャレンジ」

2010年10月～

会場：関東圏内の商業施設 (ららぽーと等)

対象：小学生

主催：三井不動産レジデンシャル

企画運営：BeGood Cafe

<プログラム内容> 30分

○地球温暖化とCO2について

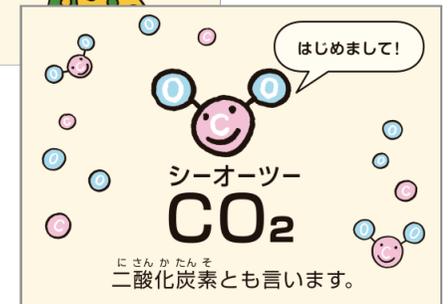
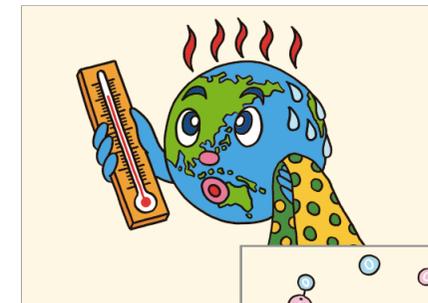
○省エネをして地球温暖化をとめよう

○家電の電気の量を考えてみよう(クイズ)

○地球にやさしい暮らし方について

○家でもECOチャレンジをやってみよう

紙芝居を使って説明



大学生ボランティアスタッフチームと





ショッピングセンターを「エコ」に！

イオンレイクタウン
アクトグリーンプロジェクト

- ◎エコアートミュージアム
- ◎廃油の回収
- ◎子ども向け工作イベント「エコサタデー」

イオンレイクタウン



イオンレイクタウン

場所：埼玉県越谷市

開業：2008年10月2日

- ◆国内商業施設最大の4,000㎡のソーラーパネル
- ◆電気自動車の充電ステーション
- ◆ハイブリットガスエコシステム
- ◆アクトグリーンルーム
- ◆植樹プロジェクト



◎エコアートミュージアム

◎廃油の回収

◎子ども向け工作イベント「エコサタデー」
など

アクトグリーン

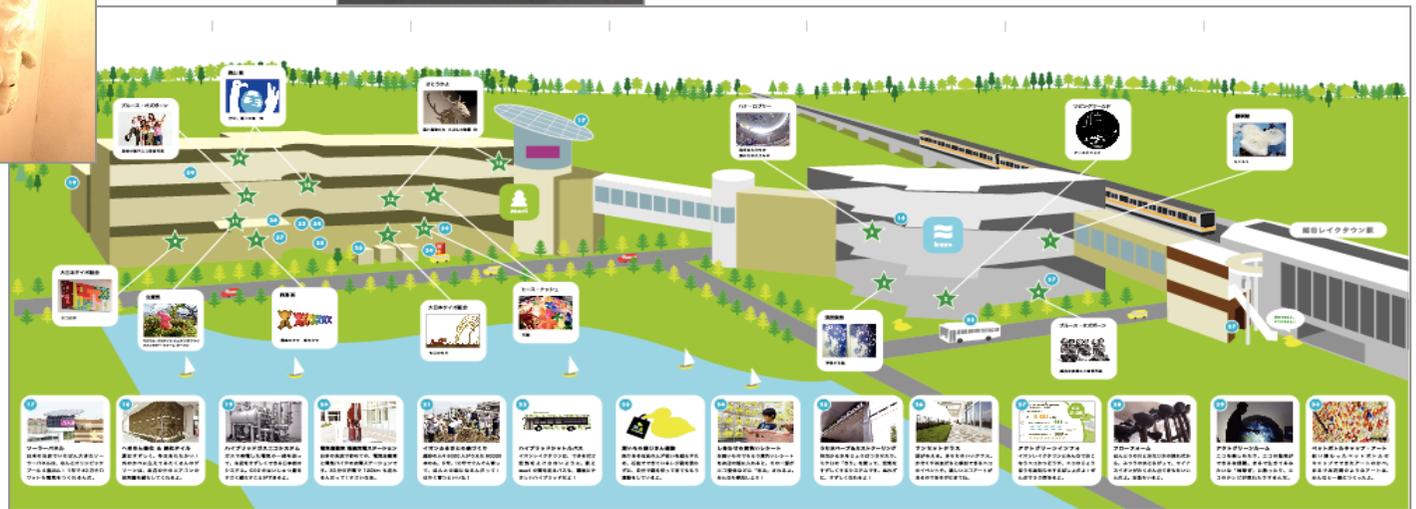
イオンレイクタウンのエコのキーワード。
アクトグリーンをコンセプトに、
さまざまな形で情報発信をしています。

イオン・レイクタウン

エコアートミュージアム・プロデュース

イオンレイクタウンでは、訪れるお客さまに「エコ」を身近に楽しんで感じていただくために、「ゴミ」や「再生品」を素材にした作品など、地球や自然の大切さをテーマにした「エコアート」を常設展示しています。
国内外の11アーティスト、計150作品を展示

Act Green art



<http://www.aeon-laketown.jp/about/art/index.html>

廃油再利用システムの構築

イオンレイクタウン内の飲食店から出る廃食油や地域の家庭の廃食油を回収、
再利用率の仕組みづくりをサポートしています。
回収された廃食油は、家畜の飼料、軽油代替燃料などに生まれ変わります。

～レイクタウン油田プロジェクト～

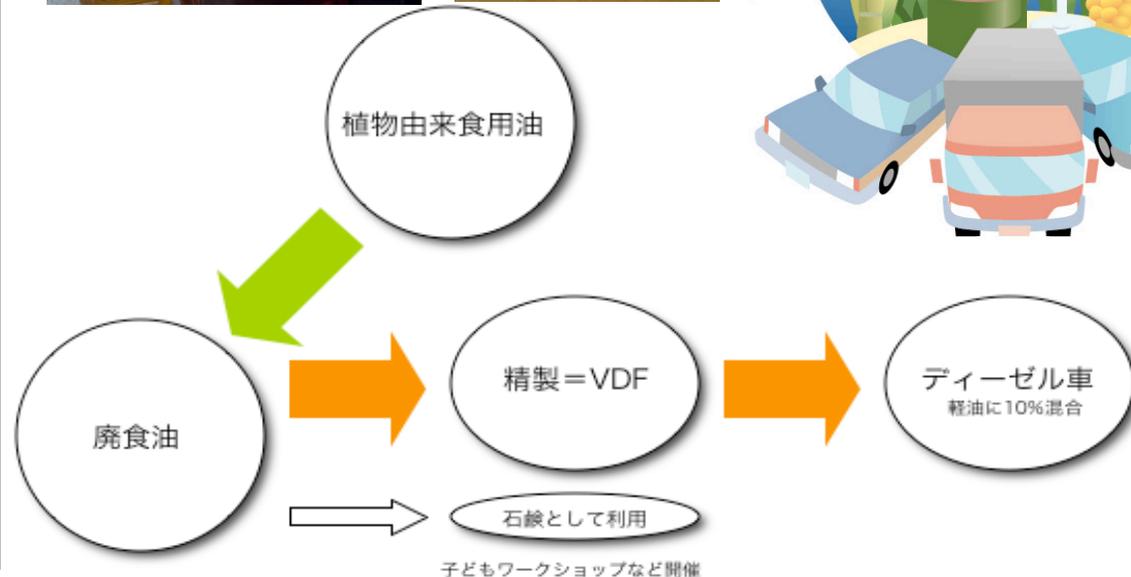
あなたのお家の
使い終わった天ぷら油、回収・リサイクルします！！
ジャスコ火曜市にお持ち下さい！
(未使用の賞味期限切れ油もOK！) by レイクタウン油田実行委員会

Q1. いつ回収しているの？
★毎週火曜日
9時～12時

Q2. 回収場所はどこ？
★ジャスコJZ入口
回収ボックスが目印！



ためよう！エコな心と「グリーンスコア」☆
油をお持ちいただいた方には
グリーンスコア10スコアをさし上げます！！
「WAON」又は「Suica」をお持ちください。
■グリーンスコアって何？
グリーンスコアとは、イオンレイクタウンでの最新型エコ活動(アクトグリーン)に参加されたお客様に対して提供するポイントです。
このグリーンスコアをお手持ちの「WAON」や「Suica」にためて、エコバックなど様々なイオンレイクタウン・オリジナルグッズと交換することができます！



エコサタデー

毎週土曜日 子ども向けエコ工作イベント

「エコサタデー」は4月から、毎週土曜日の「エコサタデー」にうまれかわりました！
参加無料 6月のエコサタデー **mori 3F**
 [わんぱくフォレスト] 前

リサイクル工作 大集合!

開催日 6月5日 12日 19日 26日
 時間 11:00~17:00
 場所 **mori 3F** [わんぱくフォレスト] 前
※ kazaからmoriにわたってすぐのエスカレーターを3階に上がってください。
※前日受付。親子でご参加ください。 ※各回10組まで、約30分。

牛乳パックや
空きカンで
リサイクルして、
楽しい工作に
チャレンジしよう!

- 6/5日 わくわく☆段ボールパズルづくり 講師: やまぐちなつこ
スタート時間 11:00 / 11:40 / 13:30 / 14:10 / 14:50 / 15:30 / 16:10
- 6/12日 牛乳パックでびよんびよんカエルづくり 講師: shiori
スタート時間 11:10 / 11:50 / 13:40 / 14:20 / 15:00 / 15:40 / 16:20
- 6/19日 牛乳パックでホイッスルをつくろう! 講師: 橋本
スタート時間 11:00 / 11:40 / 13:30 / 14:10 / 14:50 / 15:30 / 16:10
- 6/26日 空きカンマラカスをつくろう 講師: 橋本
スタート時間 11:00 / 11:40 / 13:30 / 14:10 / 14:50 / 15:30 / 16:10

ASION LakeTown



毎週土曜日にファミリー向けイベント「エコサタデー」を開催しています!
参加無料 11月のエコサタデー **mori 3F**
 [わんぱくフォレスト] 前

芸術の秋! エコアートをつくろう☆

今月はアートづくりにチャレンジ!
 自然の素材や身近なものをつかって、たのしい作品をつくってみよう!!

時間 11:00~17:00 受付は 16:20まで **mori 3F** [わんぱくフォレスト] 前
※当日先着順で受付。親子でご参加ください。 1回約30分。材料がなくなり次第、終了させていただきます。

- 11/6日 秋の落ち葉でアートフェイスをつくろう! 講師: 橋本
落ち葉や枝をつかって型かけをつくります。
- 11/13日 秋の落ち葉でアートフェイスをつくろう! 講師: 橋本
落ち葉や枝をつかって型かけをつくります。
- 11/20日 キラキラ仮面をつくろう! 講師: 橋本
いらぬ包装紙やチラシがあったら持ってきてね。かざりに使えるよ。
- 11/27日 折り紙アートでコースターづくり! 講師: shiori
いらぬ包装紙やチラシがあったら持ってきてね。かざりに使えるよ。



越谷レイクタウン・地域全体のエコフェスティバル

越谷レイクタウン一帯を「日本一のエコタウン」にするために、UR都市機構、大和ハウス、イオンらと共に、大エコイベントを開催しています。実行委員長がC.W.ニコル。議長をBeGood Cafeのシキタが務めます。

「エコって、楽しむものだよ」宣言！
Act Green eco week 2009
 アクトグリーン・エコ・ウィーク、始めます。
 主催：アクトグリーンエコウィーク実行委員会

10/3(土)→12(月) 参加費無料

10/3 Act Green eco week 2009 オープニングセレモニー
 11:00~11:30 (10/3) 本会場
 10/3(土) 10:00~11:00 (10/3) 会場A
 10/3(土) 10:00~11:00 (10/3) 会場B

10/3,4 越谷レイクタウン・リユース大作戦
 10:00~15:00

10/11-12 エコカーフェア埼玉 2009
 10:00~16:00

10/3,4 RED BULL BOX CART & 3Dチョコレートアート
 10/3(土) 10:00~16:00

10/3,4 JR東日本の環境への取り組み
 10/3(土) 10:00~16:00

10/3,4 電気自動車「エリカ」展示
 10:00~17:00

10/4-10 ミニデコ作り作ろう！
 10/4(日) 11:00~17:00

10/4-11-12 大連探検バトル 子どもの大連探検隊！
 10/4(日) 11:00~17:00

10/10-11-12 エコワークショップ みんなでドラムサークル！
 10/10(土) 10:00~16:00

10/10-11-12 暮らしを彩るエコライフ
 10/10(土) 10:00~16:00

10/11-12 デューリッパの壁紙を替えよう！
 10/11(日) 10:00~16:00

AEON LakeTown

WEB <http://www.aeon-laketown.jp/>



実行委員長

C.W.ニコル (作家)

議長

シキタ純 (NPOビーグッドカフェ 代表)

実行委員

桑原一男 (越谷市環境経済部副参事環境保全課課長)

斉藤光明 (越谷市環境推進市民会議会長)

清水良祐 (UR都市機構埼玉地域支社埼玉東部開発事務所事業課長)

平野幹二 (株式会社新都市ライフ開発部まちそだて室次長)

富樫紀夫 (大和ハウス工業株式会社東京支社マンション事業部事業部長)

森本紀彦 (東京建物株式会社住宅事業第一部事業推進グループ課長代理)

新井富士夫 (東彩ガス株式会社営業企画部取締役営業企画部長)

合田正典 (イオンリテール株式会社SC営業本部イオンレイクタウン事業部事業部長)

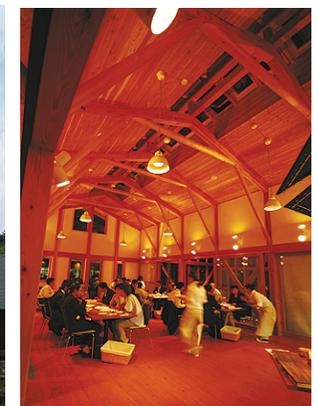
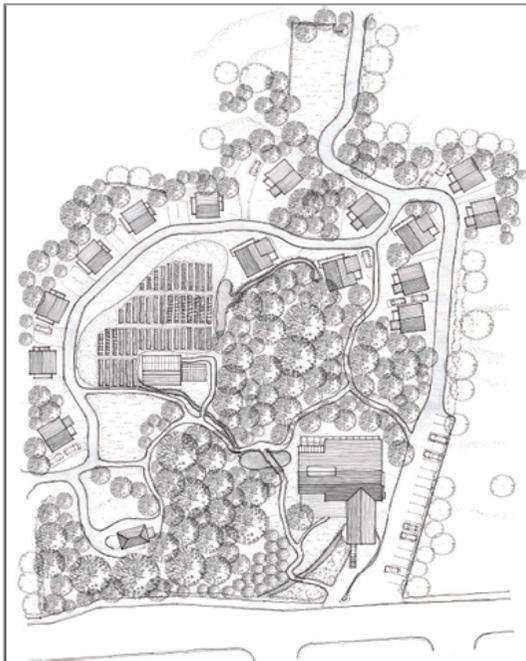
中村裕二 (東日本旅客鉄道株式会社大宮支社企画室副課長)



山中湖の開発

山中湖の開発

- 開業 : 2007年7月19日
- 施設名 : PICA山中湖ヴィレッジ
- 住所 : 〒401-0501 山梨県南都留郡山中湖平野506-296
- 構成内容 : レストラン64席、レクチャールーム、宿泊コテージ15棟、ガーデン450坪、温室
- 事業主体 : 富士急行(株)
- 運営 : (株)ピカ
- 企画設計 : (株)ピース・コミュニティ・プラン、NPO法人ビーグッドカフェ
- 運営協力 : NPO法人ビーグッドカフェ



コミュニティー・サイト

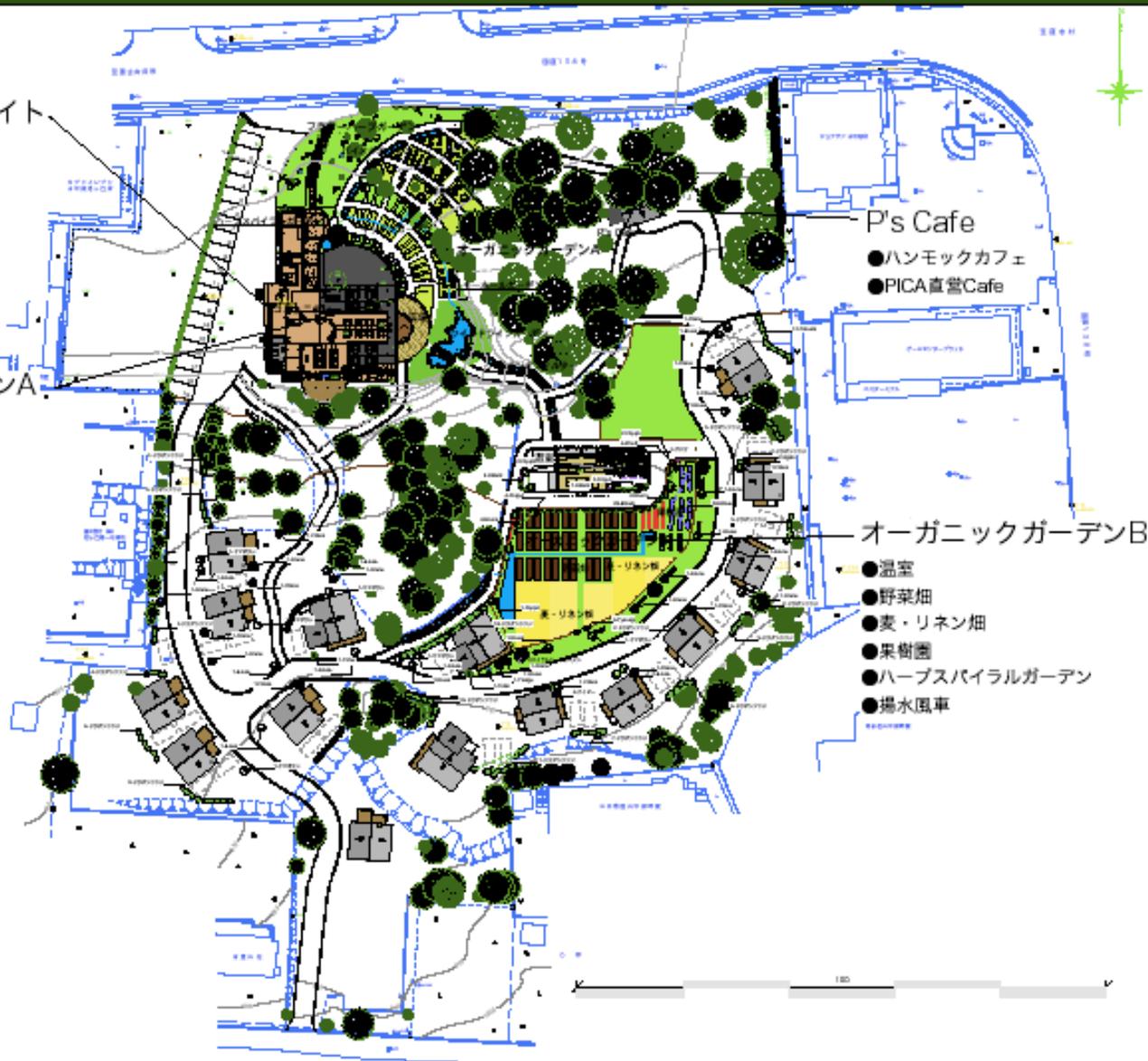
- オーガニックレストラン
- ショップ
- カンファレンスルーム
- エネルギーサイト
- コンサバトリー
- デッキ

オーガニックガーデンA

- フラワーハーブガーデン
- ハーブスパイラルガーデン
- キッチンガーデン
- キーホールガーデン
- 果樹園
- バイオジオフィルター
- ワイルドライフガーデン

ロッジ

- エコライフ体験
- バイオマス暖房
- バイオジオフィルター浄水
- 合計15棟



P's Cafe

- ハンモックカフェ
- PICA直営Cafe

オーガニックガーデンB

- 温室
- 野菜畑
- 麦・リネン畑
- 果樹園
- ハーブスパイラルガーデン
- 揚水風車

株式会社 株式会社 ビーグッドカフェ BeGood Cafe	3rd Design 株式会社 PICA 代表取締役 山崎 隆夫 〒230-0235 東京都大田区東山 1-1-1 TEL/FAX 03-5561-1187	02 PICA山中湖ヴィレッジ	SUBJECT ガーデン全体図	SCALE S:1/800	DATE 2006.07.21	NO
---------------------------------------	--	--------------------	--------------------	------------------	--------------------	----

Orange Project

小田原の耕作放棄地 再生プロジェクト

小田原にて、2005年より、耕作放棄ミカン農園の再生を始めました。

オレンジプロジェクト

2005年にスタート。小田原市の耕作放棄ミカン農園の維持再生を目指す活動。

小田原市一帯は、暖かな日差しを受けるミカン園が広がります。
過去にはたくさんの収穫量を誇った一帯でしたが、
いまは後継者不足に悩んでいます。
ミカン園は放置すると雑草が生い茂り、
ミカンの木に陽が当たらなくなり、木が枯れます。
そういう危機に瀕している農園がたくさんあるのです。

首都圏の有志の方達と一緒に、ミカン園を再生しています。

日本の耕作放棄地の現状

耕作放棄地とは・・・「過去1年以上作物を栽培せず、数年の間に再び耕作するはっきりした考えのない土地」

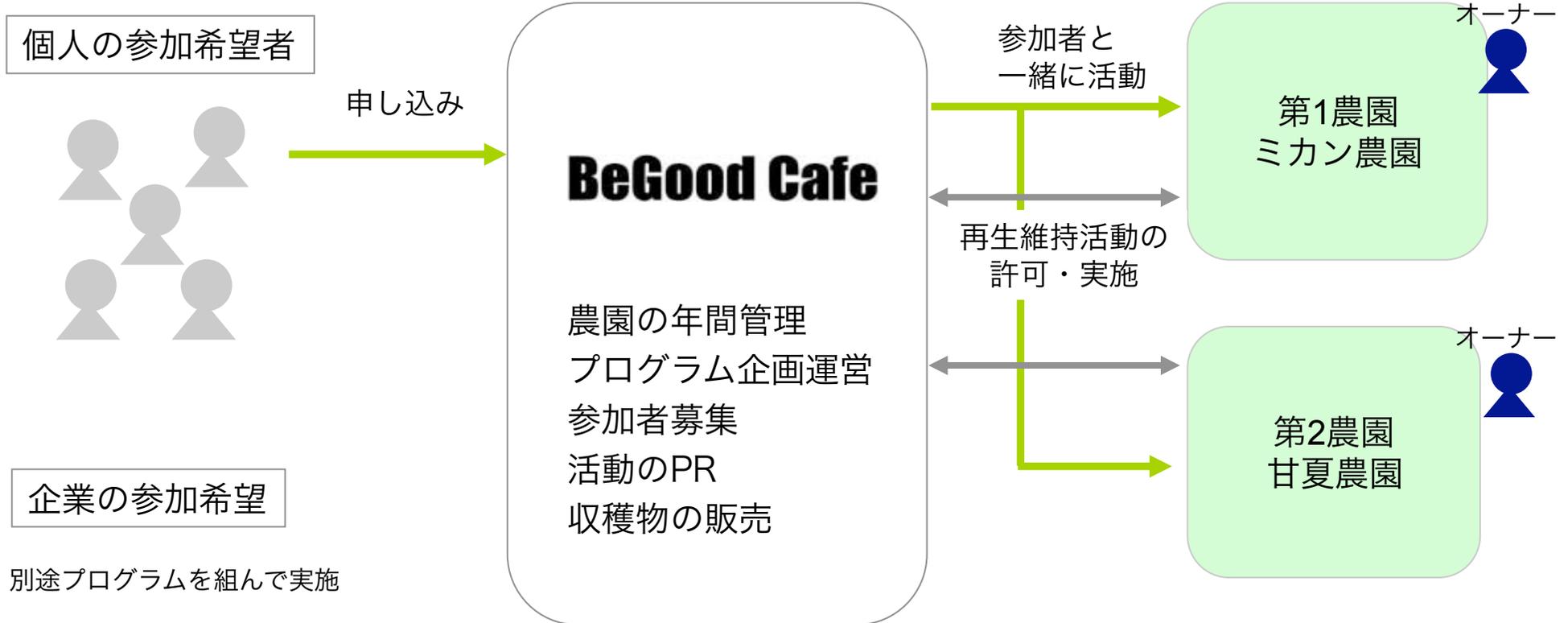
日本の耕作放棄地はここ30年で3倍に増加し、現状およそ38万6000ヘクタール(2005年)。
埼玉県面積に匹敵。

オレンジプロジェクト

開始 : 2005年
場所 : 江の浦 (温州みかん園、甘夏園)
主催 : NPO法人ビーグッドカフェ
参加者数 : 毎回約20~30名
参加費 : 3,000円



活動のしくみ



メディアでの紹介

2011年1月29日 静岡新聞



援農ボランティアに注目

放棄寸前の果樹園救済

「ミカン」は小田原市の基幹作物だが、売れ行き悪化で後継者難などから栽培がままならず、耕作放棄されるミカン畑が増えているという。そのままでは、ミカンの木をツル性の雑草などが覆い、日が当たらず、枯らしてしまふ。いったん枯れると、苗木からミカン畑を復活させるにはかなりの年数と労力がかかる。

管理費捻出に課題

「ミカン」は小田原市の基幹作物だが、売れ行き悪化で後継者難などから栽培がままならず、耕作放棄されるミカン畑が増えているという。そのままでは、ミカンの木をツル性の雑草などが覆い、日が当たらず、枯らしてしまふ。いったん枯れると、苗木からミカン畑を復活させるにはかなりの年数と労力がかかる。

衰えた共同体に息吹

第7部 エコシティ再生

「おんぼろ」の共同体が、息吹を吹き返す。おんぼろの共同体は、おんぼろの共同体が、息吹を吹き返す。おんぼろの共同体は、おんぼろの共同体が、息吹を吹き返す。

おんぼろの共同体は、おんぼろの共同体が、息吹を吹き返す。おんぼろの共同体は、おんぼろの共同体が、息吹を吹き返す。

2010年10月25日
神奈川新聞

2010年6月1日 産経新聞

栽培面積減少のミカン

有志募り、荒れた畑を再生

日本の果物の代表ともいえるミカンだが、農家の後継者難などで、栽培面積や出荷量は減少しつつある。こうした中、神奈川県小田原市ではNPO法人（特定非営利活動法人）が参加者を募り、温州ミカンの甘夏の畑の手入れ、収穫に取り組んでいる。農家も「荒れ放題になってからは無理」と望みを託す。

幅広い世代が歓声
眼下をJ東海道線が走り、相模湾を望む緑豊かな傾斜地。晴れ渡った5月の週末、一面たわわに実った甘夏を相手に「この大きいの、取れるぞ」「無理しないでね」と歓声が行き交った。NPO法人Be Good Cafe（東京都世田谷区）が、月1回ほど参加者を募って開くワークショップで、3代前後の男女を中心に、子供連れもいて幅広い世代にわたる。2回目の参加という会社員、田中真紀子さん（36）は「買い物で、値段の安さでしか農産物をとらえなかったことを反省する。この作業に自分なりに工夫が出来ると思いついて、ミカン畑に接するきっかけがあった」と意気込みを語る。「若い人がこのように楽しむ形で、農林漁業に接するきっかけがあつてほしい」とも。

成果上げ地域も認知
「ミカン」は小田原市の基幹作物だが、売れ行き悪化で後継者難などから栽培がままならず、耕作放棄されるミカン畑が増えているという。そのままでは、ミカンの木をツル性の雑草などが覆い、日が当たらず、枯らしてしまふ。いったん枯れると、苗木からミカン畑を復活させるにはかなりの年数と労力がかかる。

市内でミカン農園を営む大塚博さん（56）からこうした事情を聞いたBe Good Cafeが、畑を手入れし収穫する活動を平成17年に始めた。現在は3軒の農家に協力し、温州ミカンや甘夏の畑の再生・維持に努めている。

大塚さんは、平日は1時間程度の仕事に従事する会社員。「この地域で農業では生活が難しくなっている。若者は東京、横浜に就職してしまふ。しかし、荒れ放題になってから農地を手放すのでは遅い」と、協力を求めた理由を語る。

よその人を入れることは当初、地域で歓迎されなかった。しかし成果が上がること、地元になじんだ活動になってきていくという。

「栽培に農家がどれたけ汗を流すが、そして、取れたてのミカンがどれたけおいしいか。両方を味わってほしい」と大塚さん。

Be Good Cafeのシキタ純代表理事は「ジャングルのような状態からミカン畑を復活させる作業は大変だが、考え

の近い人が集まり、楽しい活動になっている。都合の消費型の生活に陥った人が、たわわに実った甘夏を目の前で取り戻している」と、活動の醍醐味をアピールする。

収穫したミカンは参加者で分配するほか、環境関連のイベントなどで販売し、収益は活動費に充てているという。

産経新聞社は「ニッポンの食、がんばれ」キャンペーン（www.nippon-shoku.com）を通じて食料自給率の向上を目指す。

収穫した甘夏を手に、参加者は満足げ—神奈川県小田原市



収穫量、2年で6%減

ミカン（温州ミカン）の生産は徐々に減少している。農林水産省の統計によると、平成21年産のミカンの収穫量は約100万3000トンで、19年産に比べ約6万3000トン（6%）減少した。また、結果樹面積（農家が収穫を意図し実らせた面積）も12年の約5万8400畝から漸減し、21年は約4万7000畝となった。同省は「中山間地の条件不利地や老木園の廃園、その他柑橘（かんきつ）類への転換など」を要因として挙げている。ミカンは果実数が多くなる表年と少くなる真年が交互に訪れる性質のため、収穫量などを経年で比較するには、1年おきに見るのが適切とされる。

メディアでの紹介

non-no
2011年2月号



Grazia 2010年4月号
「社会貢献って楽しい！」



SPUR 2009年3月号
「今日からグリーンな人になろう」



王様のKING'S+ BRUNCH +ブランチ



「とれんど@チャンネル」のコーナー：春のエコ特集





2009年4月20日オンエア 特集「都市農業の可能性」



小田急百貨店での「小田原キャンペーンショップ」展開

小田急百貨店新宿店で、BeGood Cafeの提唱するAGRI STYLEを期間限定ショップにしました。

週末には菜園で土いじり。そして、ココロとカラダにいいことを始めたい。
そんな生き方を BeGood Cafeは、「アグリスタイル」と呼びます。



会場：小田急百貨店
会期：2009年11月18～24日
http://begoodcafe.com/main/agristyle_report



耕作放棄地の再生活動

地域の再生 有機農家の応援

小田急百貨店との連携

農商工連携



西友とのコラボレーション



西友店舗でお客様に「夏みかん収穫ツアー」参加を呼びかけ。
採れた夏みかんをアースデイ東京（代々木公園）でジュースにして販売しました。

主催：アースデイ東京2009実行委員会 <<http://www.earthday-tokyo.org>>

企画：NPO法人ビーグッドカフェ

協力：株式会社西友 <<http://www.seiyu.co.jp>>



今日の
買い物で
きっと明日は
変わる。

地球にやさしいを 葉針にもやさしく

earth month

[アースマンズ] 4.13(mon)~5.10(sun)

Earth Month [アースマンズ]とは

ウォルマートでは環境や社会にも配慮した持続的な発展=「サステナビリティ」を推進していくために、4月22日のアースデイにちなみ、4月を「アースマンズ」として設定しています。

西友・LIVIN・サニーでも、全店をあげて、「地球・環境」に優しい商品にスポットを当て、お求めやすい価格でご提供しています。

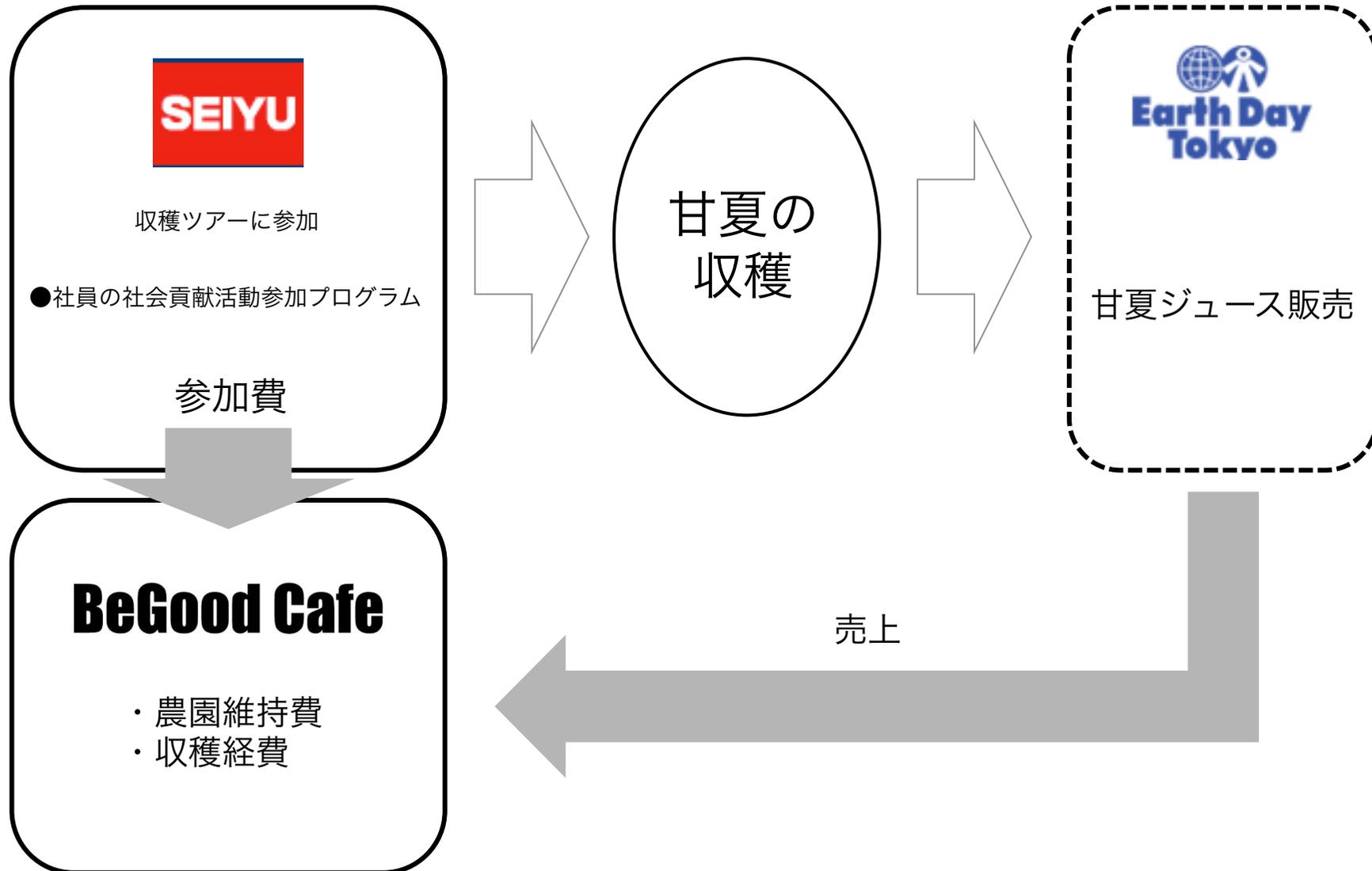
「アースデイ」は、1970年4月22日に始まった世界最大の環境イベントです！
今では、180ヶ国、5億人以上が参加しています。
日本においても1990年から各地でいろいろなイベントが開催されています。

わたしたちは、全世界7800店のウォルマートグループ一員としてアースマンズ活動に参加しています。 WALT DISNEY SEIYU LIVIN



アースデイ・オレンジプロジェクト開催概要

1. 夏みかん収穫ツアー 日時：4月11日(土) 場所：小田原市江之浦 参加者：ボランティア40名
2. 夏みかんジュース販売 日時：アースデイ東京2009 4月18日(土)、19日(日)場所：代々木公園



HSBCとのコラボレーション



HSBCが社員の社会貢献活動の一環として「社員による夏みかん収穫ツアー」を開催。
開催：2010年4月 場所：小田原市根府川／宮崎農園



展望



農村地域の活性化

ミカン園のつらなる地域の価値
ポテンシャルの見直し



小田原の文化的活性化

2 地域居住、週末ライフに適した
ロハス的エリア
新しいカルチャーの創造

戦略的ステップ

柑橘類の販売

放置農園再生
有機農家との連携

インターネット販売
小田急百貨店でのキャンペーン
エコプロダクツでのキャンペーン
和菓子「菜の花」との連携

企業との連携

販売チャンネル
社員福利厚生
自然教育
農業体験

週末ロハス 新モデルの創出

リトリート
オーガニックレストラン
エコビレッジ

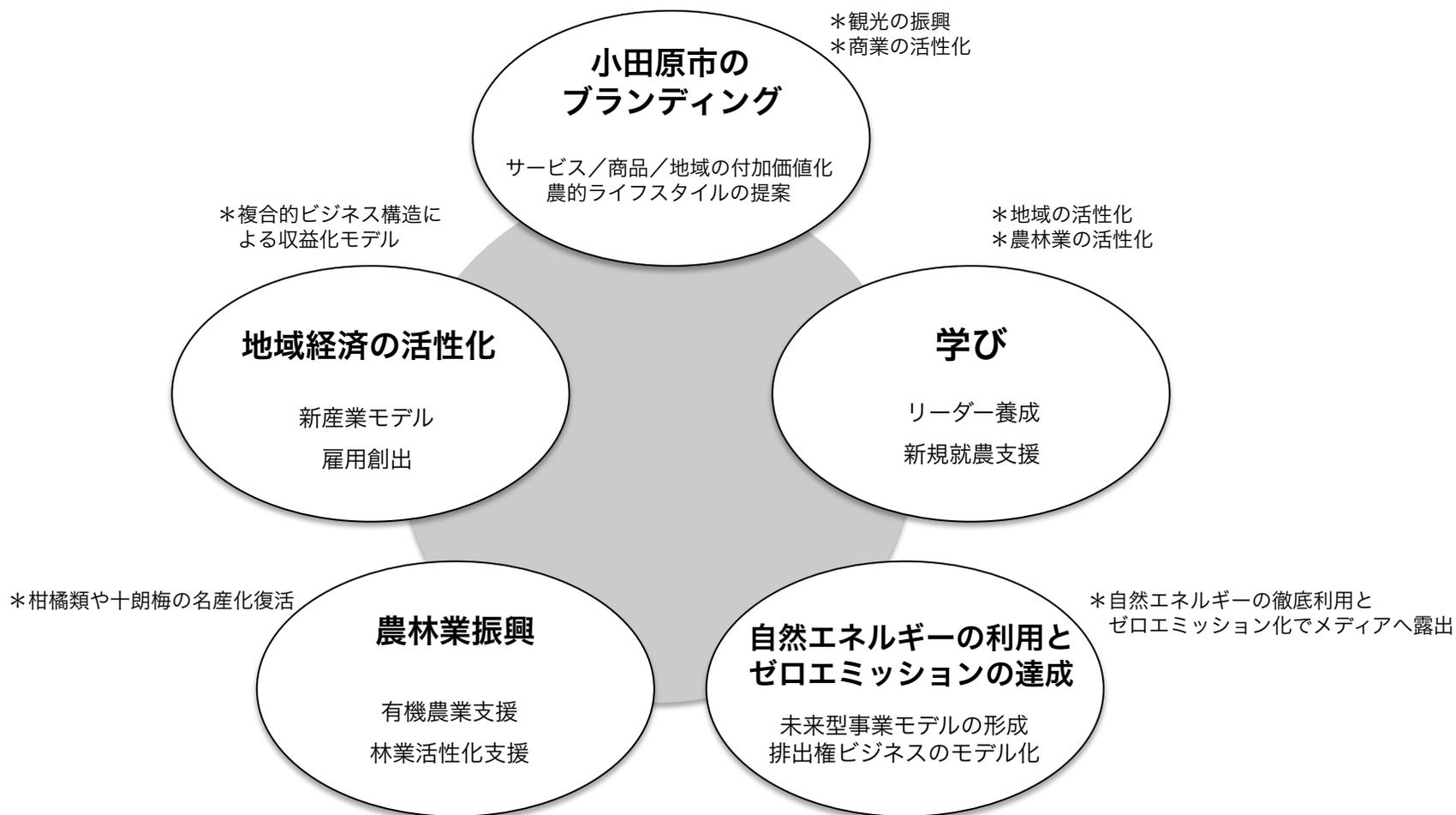
新しいカルチャーの創造
ブランディング

小田原での再生活動を6年間続け、
小田原市行政戦略アドバイザーになりました。

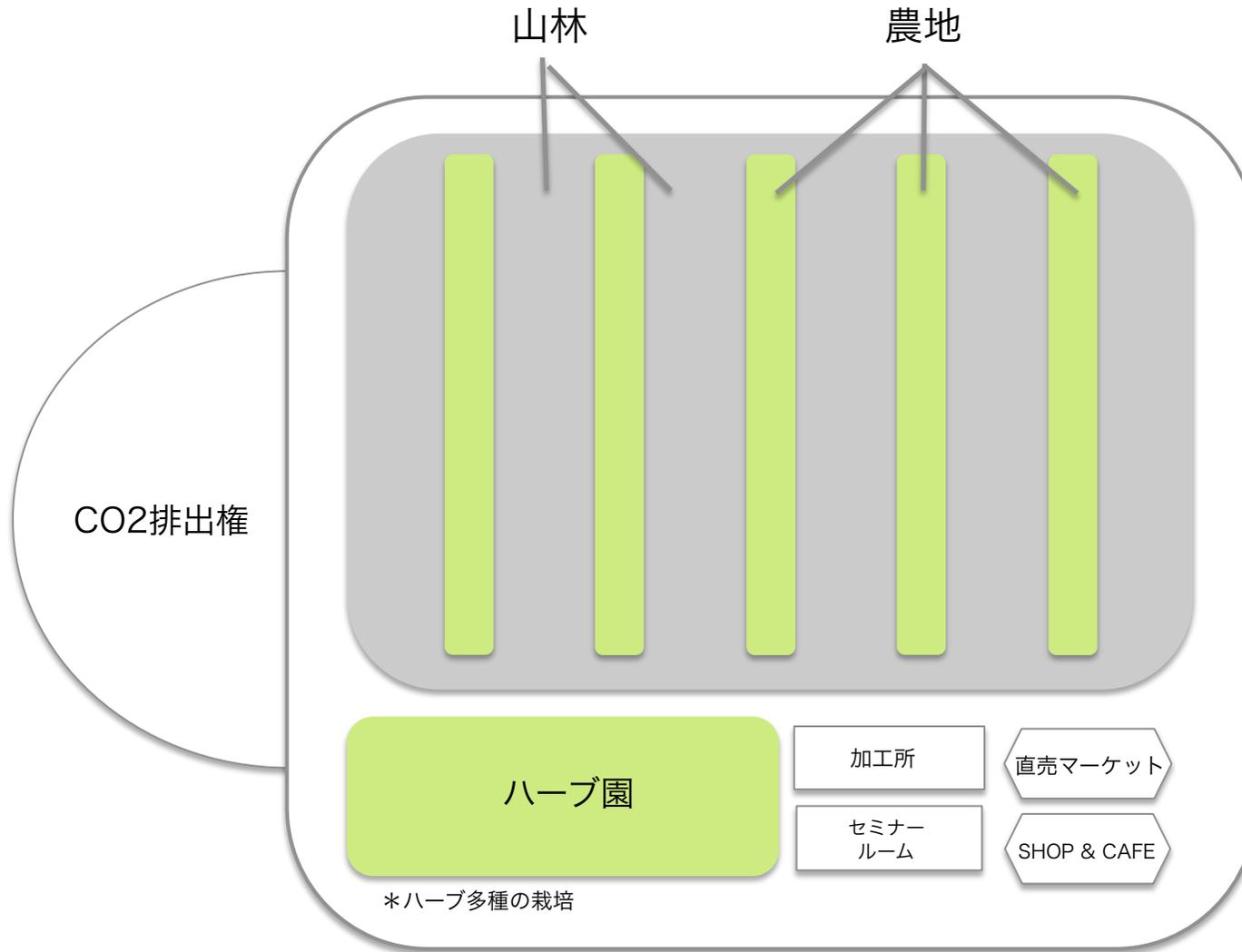
現在 小田原市と共に、有休山林で農林業と商工業を複合的に
合わせた新規事業開発をスタートさせました。

総合特区申請をする「小田原市との共同プロジェクト」

本事業は、都心から遠くない小田原という地域の特性を活かし、諸問題を乗り越えたソリューション型事業を創出するものである。多面的な事業を組み合わせ、収益を確保する。また、先進的な事例として他地域へのモデルとなる。



新規事業のイメージ



注目される農業分野に於ける企業連携

えがおつなげて
www.npo-egao.net



Resort Life 株式会社 リゾートライフ

0120-329-008

八ヶ岳泉郷ファーム
【緑ヶ丘・泉郷村等】

美しい自然環境で自然とふれあいがら
楽しく農業体験

「八ヶ岳泉郷ファーム」になりました。

曾根原 久司 × 河原田 敬美

空土プロジェクト

0120-329-008

空土倶楽部
登録者募集中!

えがお大学院
農村インターンコース
2期追加
随時受付中

平成29年・30年度内開催。地域社会貢献活動等
実がけつなげで

山梨フェア

山梨県観光物産協会

山梨フェア山梨県
産物コンクール受賞
産物（山梨県産）

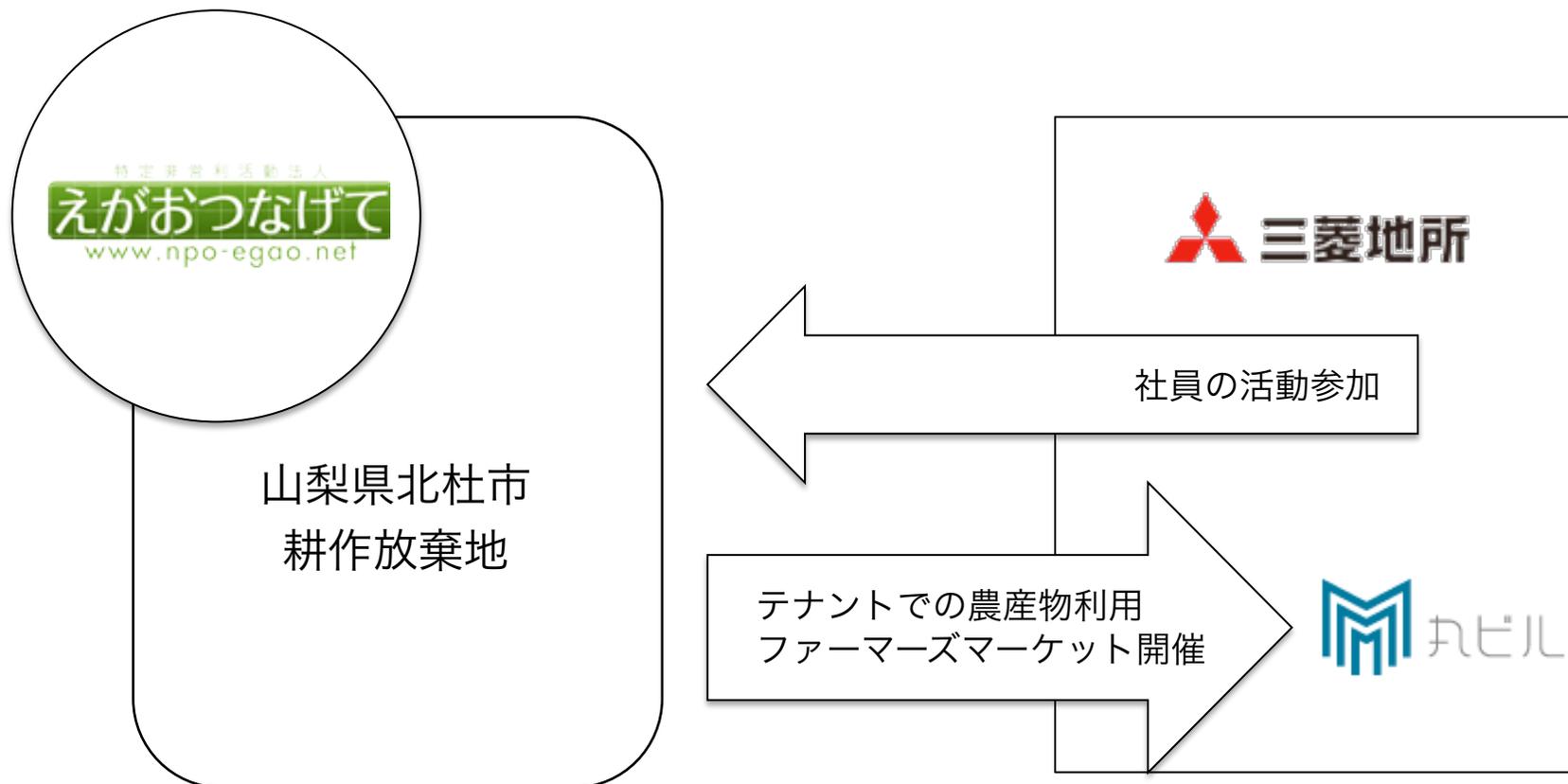
公開開始

山梨県産物
山梨県産物コンクール受賞
産物（山梨県産）

えがお大学院
npo-egao.net

公開開始 7月1日
「山梨産物コンクール」コース 49名
「農村インターン」第1期 コース50名

NPO法人えがおつなげてのビジネスモデル（一例）

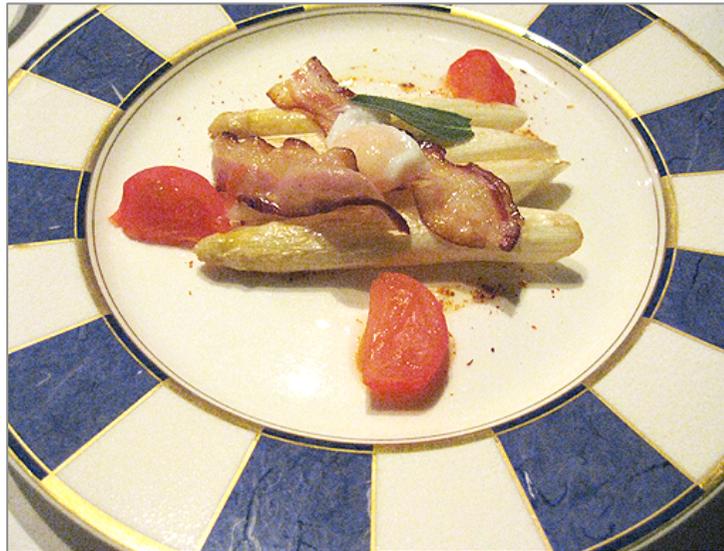


長野・信濃町

ゼロエミッション
ローカリゼーション

取り組み事例

オーベルジュ・エスプワールのジビエ料理













資源循環型工場
の
確立を目指して

株)みすずコーポレーション

4. おからの有効利用

- 乾燥 食品用乾燥機

用途に応じて4種類の粒度で生産

(パン・わさび・味噌・ちくわ・茶・こんにやく・菓子・漬物床等)

- 他用途用乾燥機

(きのこ培地・猫砂・釣り餌・殺虫剤・線香・飼料等)



- 飼料 生おからを酪農用の飼料
- 堆肥 汚れた生おからは産廃業者に委託処分
- 発酵 有効微生物で発酵し飼料・肥料

直富商事株式会社

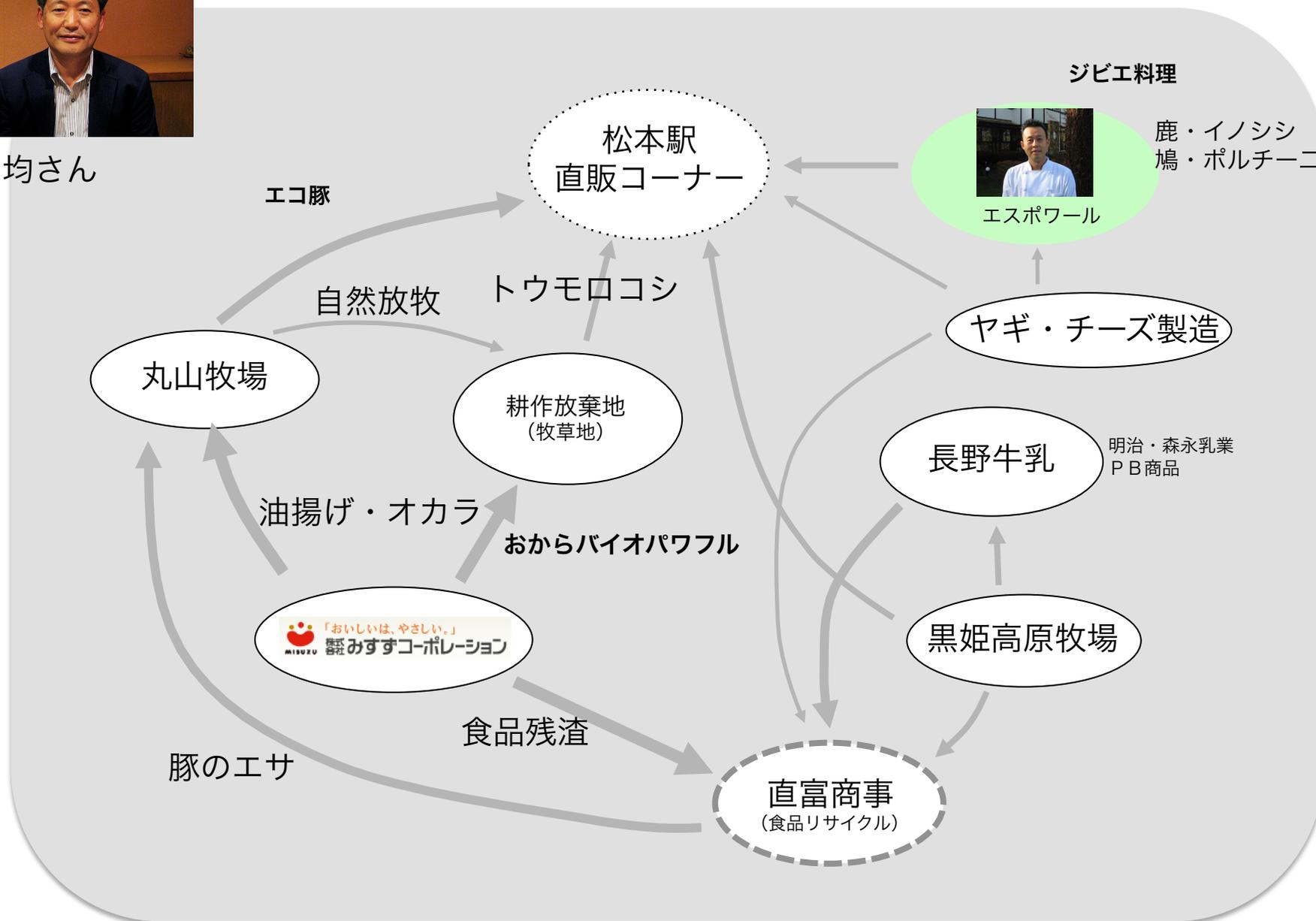
食品リサイクル・苦桃工場



長野・信濃町での循環型地域活性化



鹿田均さん



地域活性化を成し遂げている各地の「豪傑」にお集りいただき、
日本復興をめざすフォーラムを開催します。

持続可能で豊かなコミュニティを創るチャレンジャー応援プロジェクト

VISIONS



豪傑と学ぶ2日間

持続可能で豊かなコミュニティを創るチャレンジャー応援プロジェクト

VISIONS

豪傑と学ぶ2日間 8/27-28 SAT SUN
登壇者ウイメンズクラブ後

本気の有機農業で、
年収9000万円!

田んぼのなかで、
世界最先端アートフェス!



浦部真弓 60歳
URABE Mayumi
1961年12月15日生まれ、東京都立川市出身。有機農業の専門家として、有機農業の普及と持続可能な農業の推進に取り組んでいる。有機農業の魅力を伝えるために、講演やワークショップを開催している。現在は、有機農業の普及を目的としたNPO「有機農業の推進を目的としたNPO」の代表理事を務めている。



デザインを変えれば
世界は変えられるのです。

本村拓人 27歳
MOTOMURA Takuto
1991年12月15日生まれ、東京都立川市出身。デザイン会社「デザイン・デザイン」の代表取締役を務めている。デザインを通じて社会を変革したいという志を持って活動している。

北川フラム 64歳
KITAHARA FURUMI
1951年12月15日生まれ、東京都立川市出身。有機農業の専門家として、有機農業の普及と持続可能な農業の推進に取り組んでいる。有機農業の魅力を伝えるために、講演やワークショップを開催している。現在は、有機農業の普及を目的としたNPO「有機農業の推進を目的としたNPO」の代表理事を務めている。

VISIONSプロジェクトは、
日本復興のために、人を育て、チャレンジャーを応援します。

地域の特性を活かした事業を始める若者や、農林業や畜産業でチャレンジする若者、
社会に貢献する事業を始める若者達を応援します。

開催日 : 2011年 8月27日(土)・28日(日) 2日間 10:00~19:00
会場 : 東京ウィメンズプラザ ホール
主催 : NPO法人ビーグッドカフェ
協賛 : 博報堂、大和証券グループ本社、他
特別協力 : greenz.jp、WorldShift Network Japan、エコビレッジジャパンネットワーク、他
協力 : ファームエイド銀座、ローカルサミット、ふるさと回帰支援センター、日本農業新聞、他

持続可能で豊かなコミュニティを創るチャレンジャー応援プロジェクト

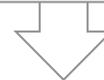
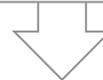
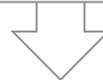
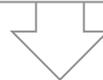
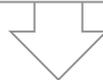
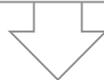
VISIONS

カンファレンスを開催 ネットワークハブを構築



持続可能な価値観のもとにチャレンジをしたい若者達

九州 四国 中国 関西 中部 東北 北海道
参加者それぞれが、各地でビジョンを
持って活動をスタート！



各地で循環型の地域活性化・雇用創出

世界が注目！ 芸術で地域活性化



北川フラム（きたがわふらむ）アートディレクター、(株)アートフロントギャラリー代表取締役会長

1997年より越後妻有アートネックレス整備構想に携わり、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」では総合ディレクターをつとめ、大地の芸術祭は2001年度ふるさとイベント大賞グランプリを受賞した。フランス共和国政府より2003年芸術文化勲章シュヴァリエを受勲。

持続可能な文明の再構築



熊野英介（くまのえいすけ）アマタホールディングス(株)代表取締役会長兼社長 アミタ(株)代表取締役社長

「持続可能社会の実現」を掲げ、他社に先駆け再資源化事業を開始。2007年に森林に牛を自然放牧する「森林ノ牧場」を開設。循環型システムを創るリーディング・カンパニー・グループとして事業領域を拡大している。現在、東北大学非常勤講師、公益財団法人信頼資本財団理事長、NPO法人地球デザインスクール理事長を兼任。

コミュニティデザインの世界・入門編



紫牟田 伸子（しむたのぶこ）日本デザインセンター チーフ・プロデューサー 美術出版社『デザインの現場』『BT/美術手帖』副編集長を経て現職。

「ものごとの編集」を軸に、さまざまなものを結びつけてつなげて発信する仕事を手がける。主な共著に『シビックプライド：都市のコミュニケーションをデザインする』『ワークショップ：偶然をデザインする技術』（共に宣伝会議）など。

あなたにも出来る農村ビジネスプラン作り



曾根原久司（そねはらひさし）NPO法人 えがおつなげて 代表理事

金融機関等企業経営の経営コンサルタントを経て、現職。平成19年度 毎日新聞グリーンツーリズム大賞優秀賞受賞。山梨大学客員准教授。山梨県立農業大学校講師。東京農工大学農学部非常勤講師。山梨県山梨県北杜市を中心に耕作放棄地を都会からの力で再生に成功。全国で若者を巻き込む農業改革を実践中。

あなたにも出来る地域ブランディング



山本聖（やまもとさとし）（独）中小企業基盤整備機構 新事業支援部 農商工・地域資源・新連携担当 プロジェクトマネージャー、(株)ランナーズ・ウェルネス

国内外問わず、外資大手に負けない専門ブランド開発を産・官・学機関と連携しながら具現化に努める。半官半民の見地で全国の中小企業の支援活動を推進。大型集客交流イベントや商店街再生人材育成を通じた地域活性化事業に取り組む。

コミュニティビジネスとは何か？ 実例紹介



山崎亮（やまざきりょう）（株）studio-L代表 コミュニティデザイナー。

現在進行中のプロジェクトは、泉佐野丘陵緑地パークマネジメント（大阪府泉佐野市）、木津川右岸運動公園パークマネジメント（京都府城陽市）、海士町総合振興計画（島根県海士町）など。京都造形芸術大学ほかにて非常勤講師。雑誌『OSOTO』副編集長。『コミュニティデザイナー一人がつながるしくみをつくる』学芸出版社（2011）

第1回鹿肉で地域おこし懇談会



藤木徳彦（ふじきとくひこ）オーベルジュ・エスポワール オーナーシェフ

地元の食材にこだわった数々のフランス料理を創作。『フレンチで味わう信州12か月』を著し、鹿肉やイノシシ肉などのジビエ料理の普及に尽力し、全国の生産者や自治体からいろいろな相談を受け、アドバイスをを行なっている。日本農業新聞全国版、毎週金曜日、藤木シェフの食材発見で記事を寄稿。

ソーシャルビジネスを始めるワークショップ



本村拓人（もとむらたくと）
（株）Granma（グランマ）代表取締役社長

米国在学中、バングラディッシュの都市ダッカから人類発祥の地であるアフリカ大陸を陸路で歩みきる。こうした放浪中に世界で約40億人と言われるBOPの人たちの生活向上に役立つ商品の流通から開発までを提供する事業を開始する。2009年『世界を変えるデザイン展』を開催。圧倒的な指示を得る。

持続可能な社会に向けて、チャレンジを続けていきます。

ご一緒にいかがですか？